

## 令和4年度 第4回中津川市総合計画推進委員会 主な意見

日時：令和5年3月20日(月) 14:00～16:00

場所：中津川市役所 4会大会議室

### 議事1 市民意識調査の分析結果について

・事務局より

「【資料1】市民意識調査の分析結果について」中京学院大学専任講師 大須賀先生より説明

・主な意見

【委員意見】

- ・年代でかなり意識が違ふと感じた。地域コミュニティに関して、昔だと地域の中でみんなが一緒になって何かを行うということが多かったが、今は若い人たちが転居して来たりすると、なかなかその地域に溶け込まない、関わりたくないという方も多い。そういった状況がアンケートにも反映されているのではないかと。
- ・「中津川市の暮らしに不安を感じますか」という質問の、不安を感じる理由について、全年齢では「健康」の割合が最も大きいのにに対し、若者たちは「少子高齢化」と「収入、税負担」のところが大きいというのは、市全体のことをしっかり考えてくれているのではないかと。そういった若者たちが、働く環境として、中津川市は魅力がないと感じているということは、市の政策として改善できるところを一つずつ当たっていく必要がある。また、この委員会としても政策の提言などができればいい。
- ・中津川市にこのまま住み続けたいと思いますかという質問で、理由が「生まれが中津川市」という割合が大きい。どんな生活スタイルを中津川市に帰ってきてくれた人たちが考えているのかということ把握し、この「生まれが中津川」というだけで、中津川市に居てくれる人たちを支援できるといい。

### 議事2 令和4年度中津川市総合計画推進委員会の検証結果への対応について

・事務局より

「【資料2】令和4年度中津川市総合計画推進委員会の検証結果への対応について」により説明

・主な意見

【委員意見】

- ・ひと・まちテラスにタッチ式の大画面のビジョンを設置し、市内の様々なコンテンツを見ていただくようにすることや、地域の魅力を集約したデータベースを構築するという取り組みがあるが、コンテンツの更新などはどのようにするのか。別の地域だと、なかなか更新されないようなものがあり、そうすると魅力が伝わらない。

【事務局】

- ・館長を配属する予定である。今も大画面に写すコンテンツをその方を中心にまとめており、その方を中心に引き続き更新等についても行っていただくことを考えている。

【委員意見】

- ・田舎暮らしナンバーワンというお墨付きがついている中津川市だが、実際どのぐらい転入、移住しているのか。

【事務局】

- ・令和3年度の移住実績（転入者へのアンケート調査）としては280世帯の421人であった。移住前の住所地は岐阜県内が79世帯133人。愛知県82世帯の130人。関東圏32世帯43人、関西圏23世帯の27人。三重県8世帯の11人という内訳である。

【委員意見】

- ・少子化を何とかしなければならぬ。ひと・まちテラスに子育て支援センターのような公の場所ができることで、子育て中の方々の相談場所であったり、リフレッシュの場所となれるといい。

【事務局】

- ・令和2年の合計特殊出生率が公表され、中津川市は1.38で、令和元年の1.58から0.2ポイント下がった。出生数も令和元年は501人であったのが令和2年は426人と激減している。県の平均は1.34。全国は1.33であるため、比較的すると高い水準ではあるが、危機感を感じている。

【委員意見】

- ・出生率については、国の方でもやっていくところではあるが、今後数年はとても大事になると思うので、中津川市においてもいろいろな形で先取りをしていただきたい。また、当委員会において委員の皆様方のご意見を頂きながら提言していきたい。